# 人的資本経営研究会　第1回ワークショップの開催

人的資本経営・開示の理解 ／ 開示準備 ／ 開示実施

会員企業の皆様に、**人的資本経営*・開示の重要性と本研究会の取組について理解を深めていただく**ことを目的として、人的資本経営・開示の意義、研究会の取組の説明や、事例紹介等を行った。

*人的資本経営とは、**人材を「資本」として捉え**、その価値を最大限に引き出すことで、**中長期的な企業価値向上につなげる経営のあり方**のこと

## 概要

本研究会では、人的資本経営導入支援の一環かつ年間の大きな取組として、人的資本開示レポートの作成・開示を行った。

### 当該取組に至った経緯

- 広島県の就業者数や平均労働時間が減少していく長期的な流れの中で、県内企業にとっては、労働生産性の向上が重要な経営課題である。
- こうした背景があり、労働生産性、ひいては企業価値の向上に繋がる取組の一つとして人的資本経営導入支援を商工労働局人的資本経営促進課が中心となり支援している。

### 第1回目ワークショップの内容

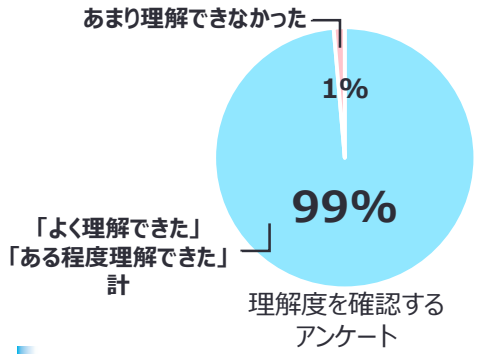
① 伊藤邦雄氏、ご登壇
本研究会の委員長である伊藤氏より、人的資本経営・開示とは何か、なぜ重要なのか、取組の意義・メリットについて説明。昨年度の取組結果を踏まえ、“開示することで企業のイメージダウンにつながらないか”等、企業の悩みに対するアドバイスをいただいた。

② 人的資本経営・開示の事例紹介
昨年度、本取組を通じて外部開示を行った企業より、取組の背景・葛藤や実施体制、取組結果等を発表。また継続して活動を行っている県外中小企業の事例や、昨年度取組まれた企業の声等をご紹介。

③ 本研究会の取組説明
広島県における本取組の背景やこれまでの取組、今後取組んでいただく取組の全体像・概要や事務局から提供する支援等を説明。

## 取組の成果

- 参加者の大部分の方にワークショップ内容を理解いただいた。
- 人的資本経営とは何かという基礎的な説明や、昨年度活動して開示をした企業による発表が、参加者の理解に繋がったと思われる。
- 「あまり理解できなかった」という回答は“他者に説明できるほどではない”というコメントであり、今後のワークショップでも継続して説明していく。




ワークショップの様子

**72社　98名が参加**
(現地とオンライン合計)

## 今後の予定

- 第2回ワークショップを7月18日に予定。
- 次回のワークショップでは、9月から始まる開示トライアルに向けて作業内容のイメージをもてるよう、開示作業全体の流れと広島県人的資本経営開示ツール**の概要、人的資本開示レポート作成の準備作業、取組事例の紹介等を予定。

**研究会事務局が提供している、人的資本情報の取りまとめや開示等をサポートするツール